

公開中間ヒアリングの概要

○過年度に採択され、実施中の事業のうち、今年度が1年目・2年目の事業の進捗状況や成果について報告を受け、次年度の継続の如何について審査を行う（1事業20分）

進捗報告10分 + 質疑応答8分 + 入替2分

○対象となる提案は5件（1年度目事業3件、2年度目事業2件）

○審査材料は、各事業について、団体と市担当課がそれぞれ作成した中間ヒアリング調書と当日の説明（パワーポイント使用）

○採点は以下の5項目、各5点・25点満点

- ・事業の有効性・効果
- ・協働の必要性
- ・役割分担の妥当性
- ・経費の妥当性
- ・継続の妥当性

○審査は、点数を参考に協議により行う

A) 次年度継続することが妥当な協働事業と考えられる

B) 次年度継続することを見送ることが適当な協働事業と考えられる

令和3年度公開中間ヒアリング タイムスケジュール

日時 令和3年10月16日(土)
午後1時～午後3時10分
会場 産業会館 4階 特別会議室

時間	区分	内容	事業概要	団体名	事業担当課	採択年度
13:00	〈 開 会 〉					
13:00	市民	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業	人口減少の時代にあつて、「住んで良かった」と思えるまちづくりに貢献するために専用HPの運用、移住・定住に関する全般的な相談事業、中山間地域の住環境整備及び空き家対策等の事業を実施する。	藤野観光協会	緑区役所地域振興課 観光・シティプロモーション課 建築・住まい政策課	R2
13:20	市民	市民参加による『さがみはら散歩』作成事業	相模原を市民がよく知り、全国に発信していくために、相模原を紹介する書籍を市民参加により作成したい。書籍には、文章、写真、地図、文芸作品などのほか、歴史、文化等を掲載し、総合的に相模原を知る資料とする。	市民講座 まなびのライブ塾	生涯学習センター 観光・シティプロモーション課	R2
13:40	市民	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり	規格外や賞味期限間近の食材が廃棄されている一方、明日の食事にも困る世帯に食材を適宜配布することで循環型社会を実現させ、食の格差を削減することで、市民の暮らしの満足度を高めて、子どもや若者をはじめ誰もが生涯にわたり活躍でき、笑顔と希望があふれるまちを次代につなぐことを目指します。	フードコミュニティ	こども・若者支援課 子育て給付課 資源循環推進課	R2
14:00	休憩(10分)					
14:10	行政	オープンデータ活用促進事業	オープンデータの利活用促進のため、市民に役立つオープンデータのニーズを掘り起こし、目に見えるサービス・アプリケーションの活用事例づくりを行い、オープンデータ活用実績として周知を行う。	さがみはらIT協同組合	DX推進課	R1
14:30	市民	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がり活性化事業	電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発するため、イベントへの出展や、関心のある団体に対して出前ワークショップを実施する。	藤野電力	危機管理課 緑区役所地域振興課 藤野まちづくりセンター 政策課	R1
14:50	行政	共助によるまちの身近な安全対策の促進事業 ※令和2年度で事業を終了したため、事業報告会として開催します。	近年、各所で大規模な地震、台風による被害が頻発しており、私たちの生活や財産に多大な影響を及ぼしている。身近にある危険な要因として管理不全のブロック塀の倒壊や屋外広告物の落下などが挙げられ、こうした危険要因を除去し、適切な情報提供を行い、安全に対する意識の向上を目指す。	特定非営利活動法人 建築文化研究会	建築・住まい政策課	R1
15:10	〈 閉 会 〉					

5事業の自己評価数値および意識差

※自己評価数値について

a=4 → 肯定する(はい)(おおいに思う)

b=3 → どちらかと言えば肯定する(どちらかと言えば思う)

c=2 → どちらかと言えば否定する(どちらかと言えば思わない)

d=1 → 否定する(いいえ)(思わない)

NO. 1 「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
行政	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	70
差	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

NO. 2 市民参加による『さがみはら散歩』作成事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
行政	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO. 3 食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
行政	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO. 4 オープンデータ活用促進事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	1	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	62
行政	4	4	4	4	1	3	3	4	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4	62
差	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

NO. 5 防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がりの活性化事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	1	4	4	3	4	3	2	4	3	4	4	4	4	3	63
行政	4	4	4	4	1	4	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3	66
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	令和2年度採択	令和2年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業					
団体の名称	藤野観光協会					
事業担当課	緑区役所地域振興課 観光・シティプロモーション課 建築・住まい政策課					
事業の概要	人口減少の時代にあつて、「住んで良かった」と思えるまちづくりに貢献するために専用HPの運用、移住・定住に関する全般的な相談事業、中山間地域の住環境整備及び空き家対策等の事業を実施する。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 相模原市においても、近い将来人口減少が避けられない状況であるが、活力ある相模原市の維持のためには、人口の量的な減少幅を可能な限り抑制し、かつ質的に生産年齢人口をある程度確保した人口構成を実現する必要がある。また、空き家対策は安全・安心対策にとどまらず、それらを移住・定住につなげる等、積極的な利活用が望まれる。これらの課題の解決をめざして市内への移住・定住を一層推進し、「住んでみたいまち相模原」を実現する。					
令和3年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。 1, 移住・定住希望者向け専用HP「里まっち」の運用及び改善 2, 移住・定住に関する相談、物件案内、契約補助に関する業務 3, 移住体験ツアーの開催 4, 移住・定住促進のためのチラシ作成 5, 「里まっちの家」推進プランの磨き上げ及びどの運用 6, 「マイホーム借り上げ制度」の周知とその運用 7, 新たなライフスタイル、ワークスタイル創出事業との連携					
令和3年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。 1…随時 「里まっち」の運用、メンテナンス 2…随時 移住・定住相談、物件案内、契約補助 4…6月 チラシ案の検討、SNS(インスタグラム)による情報発信 5…4月～7月 「里まっちの家」化のためのリフォーム情報の提供 7…6月 国交省事業検討会への参加 7月 相模原市テレワークセンター実証運営協力緊急事態宣言発令のため、移住体験ツアーの開催は中止した。					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。 1…随時 「里まっち」の運用、メンテナンス 2…随時 移住・定住相談、物件案内、契約補助 3…10月、12月移住体験ツアーの開催 4…随時 SNSによる情報発信、11月 チラシの作成 5…12月以降 「里まっちの家」化のためのリフォーム推進 6…10月 「マイホーム借り上げ制度」に関するHPの改善 7…11月～ 国交省新たなワークスタイル創出実証実験への協力 9月末現在での事業達成度・・・(80)%程度 成果をはかる指標 (ページビュー数、問い合わせ件数) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 ○ページビュー数 【目標 4,200ビュー/月間】…9月22日時点29,547ビュー ○問い合わせ件数 【目標 120件/年間】…9月22日時点91件					
事業予算額	4,402 千円					
うち市負担金額	3,922 千円 (市負担割合 89 %)					

令和4年度の事業継続を

希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	5,004 千円	(当初提案時の金額 :	5,020 千円)
令和4年度市負担金希望額	4,004 千円	(当初提案時の金額 :	4,000 千円)

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) やはり新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きい。行政担当課との対面での打ち合わせも1回のみに限られた。				
B：事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) もともと社会状況の変化によって、中山間地域への移住・定住のニーズが増えていくであろうとの予測から6年前国交省の補助事業としてこの事業を開始したが、コロナ感染下でこの傾向は一層明確になった。本事業はこうしたニーズ、社会的要請にタイムリーに応えるものであり、妥当性を持つものである。				
C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 行政と協働していることによって、事業を進めるうえでの安心感が大いに違った。また移住相談者に対する信用も大いに高められている。				

D : 協働の関係性 (a=肯定 (はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定 (いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 協働はそれぞれの特性を生かした形で進められている。				
E : 自己評価 (a=肯定 (はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定 (いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a	b	c	d
	本事業は大変時宜を得たものと考えている。移住の問い合わせ、相談、成約件数ともにコロナ渦前を上回るものになっている。国交省の補助事業を加えて足掛け6年間の取り組みが報われている感がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a	b	c	d
	中山間地域での不動産の取引には商取引では割り切れない部分が少なからずあるが、その克服のうえで行政の信用力は大きな意味を持った。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a	b	c	d
	本事業は協働によらなければ成り立たないといってよいほど協働が重要な意味を持つものであり、市民も当事者として地域課題の解決に取り組む「新しい公共」を具現するものであるとも言えよう。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>空き家、空き地があっても、なかなかそれを売却、賃貸に出さないという中山間地域固有のむずかしさがあるが、その克服のために宅建業者と協力して所有者を割り出し、個々にお話し、ご理解を得るという手法を重視している。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>神奈川県主催の「移住セミナー」やふるさと回帰支援センター主催の「ふるさと回帰フェア」などに本事業が注目され、それぞれのイベントに参加し、事業のPRができています。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>藤野地区を中心に事業展開してきたが、今年度に入って旧津久井町、相模湖町の物件も紹介できるようになりつつある。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>協働事業の行政の担当課が3課になったことのメリットをより生かせるような取り組みを期待したい。</p>
その他	<p>移住・定住とも関連して、農地取得の相談にもものっている。本年3月に相模原市は「さがみはらのめぐみワイン特区」に認定されたが、これを利用してワイン作りをしようとする移住希望者に約700坪の農地斡旋業務を現在行っている。</p>

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	令和2年度採択	令和2年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業					
団体の名称	藤野観光協会					
事業担当課	緑区役所地域振興課 観光・シティプロモーション課 建築・住まい政策課					
事業の概要	人口減少の時代にあつて、「住んで良かった」と思えるまちづくりに貢献するために専用HPの運用、移住・定住に関する全般的な相談事業、中山間地域の住環境整備及び空き家対策等の事業を実施する。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>緑区の中山間地域は、既に人口減少・高齢化が進んでおり、地域振興・活性化は喫緊の課題である。交流人口・関係人口の拡大とともに、様々なかたちで地域コミュニティの維持・強化に向けた取り組みを 推進しなければならない状況であり、これまで藤野地区を中心に実施していたものを中山間地域全体に広げるもので、移住需要への対応の充実を図り、今後の中山間地域の振興など、様々なかたちで地域コミュニティの維持・強化に繋げていく。</p>					
令和3年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の専用ホームページ「里まっち」の運用 ・移住・定住に関する全般的な相談事業 ・移住体験ツアーの開催 ・住環境整備及び空き家の有効利用等 <p>上記に加え、メディア等の活用など、より効果的な広報活動も展開する。</p>					
令和3年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何か。</p> <p>※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の専用ホームページ「里まっち」の運用 ・移住・定住に関する全般的な相談事業 ・「空き家バンク」の共有及び「空家等相談員派遣事業」との連携 ・第3回神奈川県移住セミナー(オンライン開催(Zoom使用)ウェビナー)への参加 					
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何か。</p> <p>※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の専用ホームページ「里まっち」の運用 ・移住・定住に関する全般的な相談事業 ・一般社団法人「移住・住みかえ支援機構(JTI)」における「マイホーム借り上げ制度」の周知 ・「空き家バンク」「空家等相談員派遣事業」などとの連携による更なる周知 ・SNS等による情報発信 					
	<p>9月末現在での事業達成度・・・(75) %程度</p> <p>成果をはかる指標(広報活動等、問い合わせ件数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>○問い合わせ件数 【目標 120件/年間】…9月22日時点91件</p> <p>○第3回神奈川県移住セミナー(オンライン開催(Zoom使用)ウェビナー) 参加者数:21組29名</p>					
事業予算額	4,404 千円					
うち市負担金額	3,922 千円 (市負担割合 89 %)					

令和4年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	5,004 千円	(当初提案時の金額: 5,020 千円)
令和4年度市負担金希望額	4,004 千円	(当初提案時の金額: 4,000 千円)

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>行政側の3課と藤野観光協会に対面での情報共有を実施し、各担当における役割分担を確認する機会をもつことで、方向性を確認することができた。</p> <p>また、神奈川県移住セミナーに、市と実施団体合同で参加することができ、移住を検討する方々向けにピンポイントのPRができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、まちづくり会議等が中止となったことで、物件の掘り起こしに向けた動きが進んでいないため、今後検討していく。</p>				
B：事業の評価		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>新型コロナウイルス感染症の影響もあったことかと思うが、移住を検討する方から電話等での問い合わせもあり、緑区の中山間地域全体を対象とした総合的な移住相談窓口を担っていただく本事業は、社会的にニーズのある事業であるといえる。</p>				
C：協働したことの効果		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度)※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度)※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>民間団体ももつネットワークや情報など地域特性を生かした施策展開が期待でき、また、市の役割である、広報に関する支援、各種事業との連携を積極的に推進し、効果的な事業展開を図ることが可能である。</p>				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) それぞれの役割に応じた対応ができています。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 市総合計画及び緑区基本計画、市住生活基本計画において関係人口の創出、豊かなライフスタイルの提案と移住・定住の推進を位置付けていることから、その一助となっている事業であるといえる。また、実施団体が受けている相談件数が増えていることから、ニーズがあるものであり、必要性を感じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 市だけでは把握できない働き方や暮らし方の情報を活かした相談が可能となっており、また、市との協働ということで、移住検討者も安心して相談することができている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) ・役割分担については、適切であると考えている。 ・お互いの経費の額や負担割合については、今後自立に向けて継続が可能になるよう、検討を行う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>神奈川県主催の「第3回神奈川県移住セミナー」に参加した際には、ふるさと回帰支援センターの相談員から、「移住者数の実績等を知る事で、現実的に感じられた事と思う」との感想をいただいた。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>これまでは主に、藤野地区の空き家や中古住宅などの流通を目的に、「家さがし・家づくり」の視点で、資産活用希望者と移住希望者のマッチングや住宅のリフォームなどの諸相談を受けていたが、高まる移住需要へ対応すべく、緑区の中山間地域全体を対象とした総合的な移住相談窓口を担っていただき、藤野地区に限らず、中山間地域全体へ波及させたい。</p> <p>また、季節ごとの移住体験ツアー開催とともに、自然に囲まれたゆとりある生活空間を生かした、中山間地域のライフスタイルを提案するなど、効果的なPRに繋げたい。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>行政側の3課の連携をより密にし、効果的なPRを検討し、それを全体で共有して意見を出し合うことで、よりよい協働を実現していきたい。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	令和2年度採択	令和2年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	市民参加による『さがみはら散歩』作成事業					
団体の名称	市民講座 まなびのライブ塾					
事業担当課	生涯学習センター 観光・シティプロモーション課					
事業の概要	相模原を市民がよく知り、全国に発信していくために、相模原を紹介する書籍を市民参加により作成したい。書籍には、文章、写真、地図、文芸作品などのほか、歴史、文化等を掲載し、総合的に相模原を知る資料とする。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 市民参加による相模原を紹介する書籍を作成し、市民には相模原市の再発見、市民以外の方々には、訪れたい町、住みたい町として知名度が上がるようになること。					
令和3年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何ですか。 1 講座の企画及び開催 2 原稿の作成 3 電子書籍化の検討 4 有償化の検討 5 書籍の仕様を検討					
令和3年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。 4月 夏講座の企画及び募集準備 5月 夏講座の募集 6月 夏講座の開催・公園でヨガしよう 参加者8名 場所 相模大野中央公園 ・郷土の偉人に学ぶ 全6回講座のうち1回開催 参加者7名 緊急事態宣言の発令により会場が休所となったため、8月以降に開催する講座を延期 7月 ・電子書籍化及び有償化の検討(7月～9月) ・夏講座の原稿作成及び一部受講者から原稿受領 8月 秋講座の企画及び募集準備 9月 秋講座の募集 残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。 10月 秋講座の開催 ・もっと知りたい相模原 ・たまご街道を歩こう 11月 ・冬講座の企画及び募集準備 ・秋講座の原稿作成及び一部受講者から原稿受領 ・オンライン講座についての検討 12月 ・冬講座の募集 ・書籍の仕様を検討 1月 冬講座の開催 2月 冬講座の原稿作成及び一部受講者から原稿受領 3月 春講座の企画及び募集準備 9月末現在での事業達成度・・・(20) %程度 成果をはかる指標(講座開催件数) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 ○講座開催件数 【目標 年間8講座】…9月末時点 2講座(開催中を含む)					
事業予算額	594 千円					
うち市負担金額	537 千円 (市負担割合 90 %)					

令和4年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	1,440 千円	(当初提案時の金額: 1,300 千円)	
令和4年度市負担金希望額	1,160 千円	(当初提案時の金額: 1,040 千円)	

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	市民参加による『さがみはら散歩』作成事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、事業実施の際の感染予防策、参加者の減少やキャンセル、緊急事態宣言発令による事業の中止などに見舞われ、必ずしも計画通りに事業を進めることができなかつたが、課題はその都度担当課と共有し、オンラインでの打ち合わせ、電話やメールのやり取り等で、解決に努めた。				
B：事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 講座を通じて書籍を作成することは、市民講座を実施している団体の特性を活かしていると思う。また、生涯学習及び観光の振興の観点から、担当課の特性も活かされていると感じる。				
C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 団体だけでは難しい広報、会場の確保等が可能になり、また行政の視野からのアドバイスがもらえることは団体にとって大きなメリットとなった。				

D : 協働の関係性 (a=肯定 (はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定 (いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>コロナ禍で団体だけでは事業を中止せざるを得なかった状況にも直面したが、担当課の柔軟な対応により事業を進めることができた。担当課とは、よい協力関係が築けていると感じている。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定 (はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定 (いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	担当課の協力やアドバイスで、より充実した事業が展開できた。協働事業であるということで、市民からの信頼も得られたと感じている。				
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	市民が参加し全国に発信するガイドブックであるという特性のため、団体と行政の協働は不可欠であると思う。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	適切であると思う。団体と担当課で課題を共有し、話し合いを重ねている。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>今まで講座内容については団体内での提案に基づいていたが、今回の協働事業では担当課からの提案やアドバイスを積極的に受け、新たな事業展開に努めている。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>事業がFMさがみやタウンニュースに取り上げられ、メディア関係者からも取り組みに対し評価をいただいた。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>講座に参加した市民に書籍作成にかかわるという目標ができたこと、そしてそれが近い将来実際に刊行されるという楽しみができたこと。最初は個人的な喜びであっても、書籍というかたちになった時、改めて相模原についてよく知り、魅力を再発見することができるのではないかと。それがひいてはシビックプライドとして浸透していくことを期待する。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>先が見えない社会状況ではあるが、団体と担当課が十分な意思疎通を図り、情報の共有、課題の解決を行い、目的の達成のために事業を進めていきたいと考えている。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	令和2年度採択	令和2年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	市民参加による『さがみはら散歩』作成事業					
団体の名称	市民講座 まなびのライブ塾					
事業担当課	生涯学習センター 観光・シティプロモーション課					
事業の概要	相模原を市民がよく知り、全国に発信していくために、相模原を紹介する書籍を市民参加により作成したい。書籍には、文章、写真、地図、文芸作品などのほか、歴史、文化等を掲載し、総合的に相模原を知る資料とする。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>市民参加による相模原を紹介する書籍を作成し、市民には相模原市の再発見、市民以外の方々には、訪ねたい町、住みたい町として知名度が上がるようになること。</p>					
令和3年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>1 講座の企画及び開催 2 原稿の作成 3 電子書籍化の検討 4 有償化の検討 5 書籍の仕様を検討</p>					
令和3年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>4月 夏講座の企画及び募集準備 5月 夏講座の募集 6月 夏講座の開催・公園でヨガしよう 参加者8名 場所 相模大野中央公園 ・郷土の偉人に学ぶ 全6回講座のうち1回開催 参加者7名 緊急事態宣言の発令により会場が休所となったため、8月以降に開催する講座を延期 7月 ・電子書籍化及び有償化の検討(7月～9月) ・夏講座の原稿作成及び一部受講者から原稿受領 8月 秋講座の企画及び募集準備 9月 秋講座の募集</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>10月 秋講座の開催・もっと知りたい相模原 ・たまご街道を歩こう 11月 ・冬講座の企画及び募集準備 ・秋講座の原稿作成及び一部受講者から原稿受領 ・オンライン講座についての検討 12月 ・冬講座の募集 ・書籍の仕様を検討 1月 冬講座の開催 2月 冬講座の原稿作成及び一部受講者から原稿受領 3月 春講座の企画及び募集準備</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(20) %程度</p> <p>成果をはかる指標(講座開催件数) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>○講座開催件数 【目標 年間8講座】・・・9月末時点 2講座(開催中を含む)</p>					
事業予算額	594 千円					
うち市負担金額	537 千円 (市負担割合 90 %)					

令和4年度の事業継続を

希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	1,440 千円	(当初提案時の金額 : 1,300 千円)
令和4年度市負担金希望額	1,160 千円	(当初提案時の金額 : 1,040 千円)

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	市民参加による『さがみはら散歩』作成事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加者の減少やキャンセル、緊急事態宣言の発令による事業の延期など、必ずしも計画通りに事業を進めることができなかったが、課題はその都度団体と共有し、電話及びメール等で解決に努めた。これとは別に、月1回のオンラインでの打合せを行い、その他の課題を共有し解決策を講じた。				
B：事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 市民自らが企画・運営する市民を対象とした講座を実施し、その成果を本市の紹介書籍として作成することは、本市総合計画の基本計画に掲げられた施策である「生涯学習・社会教育の振興」及び「戦略的なプロモーション」の実現に繋がるものと考えている。				
C：協働したことの効果 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・団体のノウハウを活用することにより、市民の力が生かされたガイドブックが作成できる。→市民参加の書籍として、全国にアピールできる。 ・団体のネットワークを活用することにより、行政にとって情報の発信先を拡大することができる。				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがある目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>緊急事態宣言の発令に伴う想定外の事態への柔軟な対応を行うなど互いの立場を理解した協力関係にある。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 <p>・本事業により、企画・講師・運営も市民自らが実践する生涯学習活動をより発展させることが出来た。 ・各種講座の開催は参加者が自ら市や地域などの魅力を発見、又は再発見する契機となり、シビックプライドの向上に寄与するものと考えている。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 <p>団体と意見交換をすることにより、新たなアイデアが生まれることや市民のニーズが把握でき、今後の事業展開に生かせる。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっておりますか。(互いの経費負担も含む) <p>適切である。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、秋講座の受付を行政が行った。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

相模原を紹介する書籍作成という目的があるため、本市のPRに繋がる講座を団体と共に検討すること。

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

書籍作成の過程で、受講生が本市の新たな魅力に触れることは、シビックプライドの向上にも寄与する。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

市民のニーズに即した市民目線での講座が開催されており、昨年度までの協働事業の成果が大いに発揮されていると思います。また、俳句により本市の魅力を発信できる書籍を協働により作成できることを楽しみにしています。

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	令和2年度採択	令和2年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり					
団体の名称	フードコミュニティ					
事業担当課	子ども・若者支援課 子育て給付課 資源循環推進課					
事業の概要	規格外や賞味期限間近の食材が廃棄されている一方、明日の食事にも困る世帯に食材を適宜配布することで循環型社会を実現させ、食の格差を削減することで、市民の暮らしの満足度を高めて、子どもや若者をはじめ誰もが生涯にわたり活躍でき、笑顔と希望があふれるまちを次代につなぐことを目指します。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 ・行政において2019年10月より市内3か所、現在はさらに1か所増え計4か所でフードドライブが実施され当団体は食材の受け取り配送を行っているが、これを有効に生かすため、必要とされている方への円滑かつ迅速な供給体制が必要である。 ・相模原市内ではひとり親家庭のうち半数以上が子ども食堂を知らないと回答しているが、子ども食堂を知らない方でも、条件が合えば行かせたいが6割を占め、その需要は年々高まっている。(平成30年 子どもの生活実態に関するアンケート調査) ・市内では子ども食堂や無料学習塾など、子どもの居場所支援を行っているが、この度協働事業として市内に約7,000世帯の生活に困窮する子育て世帯への支援を行う事で、さらなる子どもの健全な育成に貢献にする。					
令和3年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何ですか。 ・フードバンクや企業、市民等から提供された食材を子ども食堂や子育て世帯に届けることで食材を有効に活用し食品ロスの削減と、食の格差解消で、誰もが健やかに暮らせるよう支援する。 ・子ども食堂への食材運搬: フードバンクかながわ他(1回/月)オギノパン(3回/月) ・子育て家庭への食材支援(会場配布25世帯・個別宅配25世帯) ・市民や団体・企業からの食材集荷(随時)(セカンドリーグ神奈川他) ・子ども食堂団体とのコラボによる余剰食材料理教室の開催(2回/年) ・大学連携等による食品ロス啓発活動(講演会の実施(2回/年)) ・食材確保のため、スポンサー企業の獲得					
令和3年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。 4～9月: フードバンクかながわ集荷・配送(1回/月)⇒計画以上(子ども食堂3団体) てらこやラッキーズ・ひよこ子ども食堂・あさみぞみんなのコミュニティ 4～9月: 子ども食堂への食材配送(4回/期間内): ⇒計画以上(子ども食堂6団体) みんなの食堂ちゃお・ふじみみんなの食堂・みかんのき・おかげさん・陽光台食堂 4～9月: 市民からの食材集荷(不定期)計画以上(一般市民6回/月) 4～9月: 子育て家庭への食材支援(会場配布25世帯・個別宅配25世帯⇒計画通り) 4～9月: フードドライブ品の集荷(1～3回/月)⇒計画以上(資源循環推進課・JA相模原市) 4～9月: オギノパンの食材集荷(3回/月)⇒計画内(前半はコロナ禍で需要が無かった) 4～9月: セカンドリーグ神奈川食材集荷(2回/月)⇒未達(先方の組織変更で1回/月に変更) 4～9月: 子ども食堂団体とのコラボによる余剰食材料理教室の開催(2回/年)⇒未達 (コロナ禍で、会場等も使えず断念) 8月: 大学連携等による食品ロス啓発活動(講演会の実施(2回/年))⇒未達 (コロナ禍で、大学生との連携が出来ず、地域づくり大学公開講座での講演に変更実施) 残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。 10～3月: フードバンクかながわ集荷・配送(1回/月)(子ども食堂3団体) てらこやラッキーズ・ひよこ子ども食堂・あさみぞみんなのコミュニティ 10～3月: 子ども食堂への食材配送(4回/期間内): ⇒(子ども食堂5団体) みんなの食堂ちゃお・ふじみみんなの食堂・みかんのき・おかげさん・陽光台食堂 10～3月: 市民からの食材集荷(不定期)(一般市民6回/月) 10～3月: 子育て家庭への食材支援(会場配布25世帯・個別宅配25世帯⇒計画通り) 10～3月: フードドライブ品の集荷(1～3回/月)(資源循環推進課・JA相模原市) 10～3月: オギノパンの食材集荷(3回/月)(前半はコロナ禍で需要が無かった) 10～3月: セカンドリーグ神奈川食材集荷(1回/月)(先方の組織変更で1回/月に変更) 10～3月: 子ども食堂団体とのコラボによる余剰食材料理教室の開催(2回/年) (コロナ禍の為、オンラインによる講座又はテーマの変更など検討し計画中)					
	9月末現在での事業達成度・・・(60)%程度					
	成果をはかる指標(活動件数・食品ロス削減効果) 「平均活動件数」(2021年4～9月度実績) ★食材の集荷: 月平均21件(2020年度4～9月比約1.16倍) ★食材の配送: 月平均50件(2020年度4～9月比約1.67倍) 「食品ロス削減効果(2021年4～9月度実績)」 ★月平均 190万円・年間 790万円(2020年度4～9月比約1.27倍) ★取り扱い食材量 (2021年4～9月度実績) 1.8トン					
事業予算額	1,520 千円					
うち市負担金額	1,341 千円 (市負担割合 88 %)					

令和4年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	1,315 千円	(当初提案時の金額: 1,800 千円)	
令和4年度市負担金希望額	1,052 千円	(当初提案時の金額: 1,440 千円)	

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の定例会を持ち、毎月の成果について報告を行ったほか、メールなどにより常に課題を共有し、解決策を講じることができた。 ・課題については双方で話し合い、解決することが出来た。 ・子育て家庭への食材支援においては、その役割を果たす中で双方が協力し取り組むことが出来ている。 				
B：事業の評価		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭への食材支援においては、毎月アンケート調査を実施し、利用者からの意見等を参考にしながら事業を進めているが、コロナ禍でもありこの活動に対する評価は高く、市民の要望に十分にこたえることが出来ていると思われる。 ・行政に広報力に加え、団体のノウハウやネットワークを事業に生かすことができた。 ・事業経費について、人件費を当初は時間計算で計上したが、実際には回数や行った活動別に項目を細分化して、計上するほうが良いと判断、さらに当初計画していた予算枠を見直し、必要な事業に振り分けることで、当初計画した予算額で活動できるみとおしが付いた。 				
C：協働したことの効果		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・市との協働事業を行うことで、団体の信頼性が増した。 ・行政にとって新たな情報発信の方法を創出できた。 ・行政と市民の強みを生かし、より市民目線に立った活動、また市民からの食材支援などの輪が広がった。 				

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
		a	b	c	d
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができましたか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができましたか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができましたか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができましたか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・行政が出来ること、市民が行えることを理解し自らの目的を共有して事業に取り組むことが出来た。 ・毎月開催の定例会の他、都度メールや電話で話し合い、互いに対等な立場で協力し補完しながら効果的に事業に取り組むことが出来た。 ・不明な点は互いに話し合いルール化するなど、協働する意義を明確化し事業に取り組めた。 				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
		a	b	c	d
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭への食材支援は、毎月わずか50世帯のみではあるが、利用者からのアンケートにもあるように、多くの世帯から感謝の言葉が寄せられるなど、事業をやっているよかったですと思っている。 ・団体にとってもこの事業により、より多くの支援者が増え、団体の活動に理解を示してくださる方が増えた。 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げるのでできない事業だと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・行政のホームページや広報誌による情報発信により広く告知するとともに、こうした情報だけでは届きにくい世帯へは市民が作成したポスターやチラシにより、きめ細かな情報発信により、多くの世帯に情報を届けることが出来た。 ・協働による効果として、食材を提供して下さる企業や団体・市民の数も増えている。 ・子育て世帯への食材配布については、協働により会場での配布だけでなく、各世帯に個別に宅配することで、会場にまで行けない方へ届けることが出来るようになり、予約申し込み後1時間程度で予定数はもとより、キャンセル待ちも埋まるまでになった。 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) <ul style="list-style-type: none"> ・経費の額や負担割合については課題があり、今後は協賛募集、子ども食堂等に受益者負担を導入するなど、自主財源の創出を進める必要がある。 ・今回の協働事業により、子育て世帯25世帯への個別宅配が開始されたが、通常の配送費15円/kmでは団体メンバーに自家用車の経費や万一の事故に対する保険費用など負担が多く、こうした経費をどのように補填するかが課題である。専用車両のリースも検討したが、リースの場合は契約期間が5年以上出るなど課題もあり断念した。レンタカー利用についても、都度借りる手間を考えると効率的ではなく。課題が残る。 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）	
19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭への食材支援事業の愛称を募集するなど、親しみやすい愛称づくりを検討している。 ・人件費等の算出において、当初は時間計算で試算するようだったが、活動内容別にきめ細かな項目に分け、だれもが計算しやすいスタイルに作り替えた。
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働の枠組みからは外れるかもしれないが、より多くの世帯に食材を提供するためにも、市内のその他のフードバンク団体との連携や行政においても資源循環推進課が中心となり、SDGsでも謳われている「飢餓や貧困を無くす」・「食品ロス削減と食の有効活用による循環型社会の実現」にむけ、オール相模原としての活動につなげていきたい。
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会以外にも随時情報共有を行ったことが効果的な事業実施に繋がったため、今後も情報共有を密にし、事業に取り組んでいきたい。 ・子育て家庭の募集枠が50世帯/月ということで、そこから漏れてしまった場合などの受け皿として、生活福祉課や各区の生活支援課なども情報共有し、食材が受け取れないという世帯を減らす取り組みも検討していきたい。 ・生活に困窮している家庭を相模原市から無くすため、現在の協働の枠をさらに拡大し、資源循環推進課が中心となり、食材を配布する側のこども・若者支援課や子育て給付課は勿論、生活福祉課(各区の生活支援課)パートナー企業やスポンサー企業の支援を仰ぐためにもSDGd推進課との連携などで、更なる事業の拡大を図りたい。また市内フードバンク団体との連合体を形成し、オール相模原として取り組みたい。
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	令和2年度採択	令和2年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり					
団体の名称	フードコミュニティ					
事業担当課	こども・若者支援課 子育て給付課 資源循環推進課					
事業の概要	規格外や賞味期限間近の食材が廃棄されている一方、明日の食事にも困る世帯に食材を適宜配布することで循環型社会を実現させ、食の格差を削減することで、市民の暮らしの満足度を高めて、子どもや若者をはじめ誰もが生涯にわたり活躍でき、笑顔と希望があふれるまちを次代につなぐことを目指します。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 行政において2019年10月より、市内4か所でフードドライブが実施され、フードコミュニティは食材の受け取り配送を行っており、団体と行政が協働し、各々の役割を連携して担うことで、子ども食堂や子育て家庭など必要としている方への食の支援を充実し、合わせて食品ロスの削減に貢献する。					
令和3年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。 フードバンクや企業、団体、市民等から提供された食材を子ども食堂や子育て世帯に届けることで食材を有効に活用し、健やかな暮らしを実現できるよう支援する。 ・子ども食堂への食材運搬(オギノパン月3回)(フードバンクかながわ月1回)・市民や企業からの食材集荷(随時) ・子育て世帯への食材配布(月50件) ・子ども食堂を運営する団体と料理教室の開催(年2回) ・大学連携等による食品ロス啓発活動(講演会の実施 年2回)					
令和3年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。 4-9月: フードバンクかながわ集荷・配送(子ども食堂3団体配送) (フードバンクかながわ集荷時以外においても食材入荷時に月5回程子ども食堂へ配送) 4-9月: 市民からの食材集荷(月6件程度) 4-9月: 子育て世帯への食材の提供(月50件) 4-9月: フードドライブ品集荷・配送(月1回) 4-9月: オギノパンの食材集荷(月3回) 4-9月: セカンドリーグかながわ食材集荷(月1回) 8月: 講演会の実施(1回) 残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。 10-3月: フードバンクかながわ集荷・配送(月1回) 10-3月: 市民からの食材集荷(不定期) 10-3月: 子育て世帯への食材の提供(月50件) 10-3月: フードドライブ品集荷・配送(月1回) 10-3月: オギノパンの食材集荷(月3回) 10-3月: セカンドリーグかながわ食材集荷(月1回)(先方の組織変更で1回/月に変更) 10-3月: 余剰食材を利用した子ども食堂での料理教室の開催(2回) 2月: 講演会の実施(1回) 9月末現在での事業達成度・・・(60)%程度 4-9月: フードバンクかながわ集荷・配送(月1回)⇒ 計画以上 子ども食堂3団体配送 (フードバンクかながわ集荷時以外においても食材入荷時に月5回程子ども食堂へ配送) 4-9月: 市民からの食材集荷(不定期)⇒ 計画以上 (月6回程度) 4-9月: 子育て世帯への食材の提供(月50件)⇒ 計画通り 4-9月: フードドライブ品集荷・配送(月1回)⇒ 計画以上 (資源循環推進課2回/月程度、農協から2回/月程度) 4-9月: オギノパンの食材集荷(月3回)⇒ 計画通り 4-9月: セカンドリーグかながわ食材集荷(月2回)⇒ 計画未達 (月1回)(先方の組織変更で1回/月に変更) 8月: 講演会の実施(年2回)⇒ 計画通り					
事業予算額	1,520 千円					
うち市負担金額	1,341 千円 (市負担割合 88 %)					

令和4年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和4年度事業予算額	1,315 千円	(当初提案時の金額:	1,800 千円)
令和4年度市負担金希望額	1,052 千円	(当初提案時の金額:	1,440 千円)

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) コロナ禍においてもほぼ計画通りに実施している。双方の課題は、月1回の定例会にて共有できている。定例会以外においても、随時電話、メールおよび対面で意見交換を行い、解決策を導き行動することができている。				
B：事業の評価 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 子育て家庭への食材配布は、毎月アンケートを実施しているが、利用者からは概ね良好な評価をいただき、市民や社会的要請を的確に捉えることができたかと判断している。 子ども食堂においても、既存団体だけでなく、新規で立ち上げた団体へも運搬し、担い手の方々から感謝の気持ちを伝える言葉を多くいただいている。 予算については、予定より費用を抑えることが出来ているため、来年度の予算額は適切な規模に修正する。				
C：協働したことの効果 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 行政では手が行き届きにくい部分を担っていただき、食品ロスの削減の推進と、食を必要とする家庭や子どもの支援に繋がった。				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>随時話し合いを持つことで、お互いの思いや意思を共有できる関係性を築けるようになり、お互いに求める役割等を効果的に果たすことができている。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 協働事業提案制度により始めた子育て家庭への食材支援は、利用者から大変好評であり、子ども食堂や無料学習支援団体からも喜びの声が多く挙がっている。協働で事業を進めることで多くの方の支援に繋がったと感じている。	a	b	c	d
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 団体が市民や企業に対して、これまでに築いてきた信頼性を如何なく発揮してくださることで、食品ロスになるかもしれない食材を入手し、本当に必要としているところへ運搬できている。	a	b	c	d
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 市・団体ともに各々にしかできない役割を担い、適切に協働できている。本事業は、食材を有効活用することで、必要としている方への食の支援に繋がっており、利用者の満足度も高いことから、協働提案事業終了後も継続して活動できるよう、役割分担、経費負担の見直しを進める必要がある。	a	b	c	d

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

子育て家庭への食材支援は、一人一人の置かれている状況を考慮して、個別配送と会場配布を設定し、利用者に寄り添った形で実施している。

19

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

20

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

団体の積極的な活動により、フードバンクの活動について市民・企業に認知していただける機会が多くなり、寄附の申し出等も増えたことから、今後も認知度を高め、賛同していただける市民のつながりを広げていきたい。

21

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

協働事業1年目から、多岐に亘る事業に取り組んでいただきありがとうございました。
今後とも、密に連絡を取り合い、より良い事業になるよう協働していきたいと考えています。

22

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	令和元年度採択	令和元年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	オープンデータ活用促進事業					
団体の名称	さがみはらIT協同組合					
事業担当課	DX推進課					
事業の概要	オープンデータの利活用促進のため、市民に役立つオープンデータのニーズを掘り起こし、目に見えるサービス・アプリケーションの活用事例づくりを行い、オープンデータ活用実績として周知を行います。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>行政もオープンデータの利活用促進に取り組んでいることを知ったが、一般市民向けに有効活用されている事例はまだまだ少ない(38件中4件)。どのような情報が求められているのか、どのような形で提供されると喜ばれるのかを調査、整理し、オープンデータ活用の啓蒙を図る。</p>					
令和3年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>(1)オープンデータについて各所との調整 (2)啓発イベントの企画、立案 (3)啓発イベントの告知 (4)啓発イベントの開催、評価</p>					
令和3年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>(1)オープンデータについて各所との調整 →こども家庭課、こども・若者政策課に子育て施設情報のオープンデータ化依頼 (2)啓発イベントの企画、立案 →ノーコード開発ツール等を用いた開発環境、ユニコムプラザさがみはら及び学生ボランティアの協力を得てYoutubeを用いた告知について検討。事前セミナー(8月)、Youtube告知(10月)、広報(11月)、アプリコンテスト(1月開催) (3)啓発イベントの告知</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>コロナウイルス感染症対策強化に伴い中断</p>					
	<p>9月末現在での事業達成度・・・(25)%程度</p> <p>成果をはかる指標(計画項目に対する取り組み済み項目の割合)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p>					
事業予算額	150 千円					
うち市負担金額	100 千円 (市負担割合 67 %)					

令和4年度の事業継続を

希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	150 千円	(当初提案時の金額 :		千円)
令和4年度市負担金希望額	100 千円	(当初提案時の金額 :		千円)

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	オープンデータ活用促進事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ノーコードによるアプリコンテスト、ユニコムプラザさがみはらの協力を得た広報事業など、具体的に前進した内容が多かった。				
B：事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 新型コロナウイルス感染症の影響により本年度のメイン事業であるアプリコンテストの実施が行えなくなったのが残念。				
C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) コンテスト及び広報の進め方についてはさがみはらIT協同組合の知見やネットワークを活用することができた。				

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	事業の必要性は感じるが、今年度の主目的が実施できていないため充分と言える満足感は得られていない。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	組合単独では、本事業のようにオープンデータという切り口で市民へのニーズ調査や啓蒙活動を行うことはなかったと考える。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

新型コロナウイルス感染症対策のためにZoom、クラウドファイル共有などのITツールを活用している。

19

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

「ユニコムプラザさがみはら」より本事業に対するご理解を戴き、広報及びコンテスト参加者への告知について協力戴くことになった。

20

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

「ユニコムプラザさがみはら」との連携。

21

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

コロナ禍により本事業開始時には想像していなかった事態となった現在、当初の計画通りには進められなくなっている。最終年度についてはオープンデータ活用促進の啓蒙は主目的として、イベントの開催方法など手直したほうが良いことは柔軟に考えていきたい。

22

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	令和元年度採択	令和元年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	オープンデータ活用促進事業					
団体の名称	さがみはらIT協同組合					
事業担当課	DX推進課					
事業の概要	オープンデータの利活用促進のため、市民に役立つオープンデータのニーズを掘り起こし、目に見えるサービス・アプリケーションの活用事例づくりを行い、オープンデータ活用実績として周知を行います。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>オープンデータの利活用を促進するにあたり、市民の利用目的に見合った有益なデータを公開する必要があり、そのためには、公開側である「行政」の視点だけではなく、利用する側である「市民」の視点も取り入れ、双方の知見を活かした取組が必要と考え、地域課題の解決や利便性の向上等に有益な取組を意図する市民団体と協働し、オープンデータ活用モデルの構築及び利用促進を図る。</p>					
令和3年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>①データ啓発イベントの企画、スケジュールの立案 ②オープンデータに関する庁内各部門との調整 ③学生等と連携したアプリ作成セミナー＆Youtube配信の企画・実施 ④「広報さがみはら」等によるイベント周知 ⑤アプリコンテストの実施、一般によるアプリケーションの更なる公募</p>					
令和3年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>①データ啓発イベントの企画、スケジュールの立案 →アプリセミナー(8月)、Youtube配信(～10月)、広報11月掲載、アプリコンテスト1月開催 ②オープンデータに関する庁内各部門との調整 →こども家庭課、こども・若者政策課に子育て施設情報のオープンデータ化依頼 ③学生等と連携したアプリ作成セミナー＆Youtube配信の企画 →「ユニコムプラザさがみはら」と学生ボランティアによるアプリセミナー開催について協議</p>					
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。</p>					
	<p>コロナウイルス感染症対策による業務縮小のため中断</p>					
<p>9月末現在での事業達成度・・・(30)%程度 成果をはかる指標(計画した作業の進捗状況) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 ・上記取組状況のとおり、今年度計画した作業の③/⑤(③は仕掛中)を実施した。</p>						
事業予算額	150 千円					
うち市負担金額	100 千円 (市負担割合 67 %)					

令和4年度の事業継続を

希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	150 千円	(当初提案時の金額 :	150 千円)
令和4年度市負担金希望額	100 千円	(当初提案時の金額 :	100 千円)

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	オープンデータ活用促進事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 市役所の資源を新型コロナウイルス感染症関連対策に集中するため、業務継続計画(BCP)による業務の縮小が図られ、本事業は7月以降中断することとなった。				
B：事業の評価 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 今年度実施予定であったアプリコンテストは、市民に役立つオープンデータのニーズを掘り起こし、目に見えるサービスアプリケーションの活用事例づくりを行うことによって、オープンデータの認知度を高めて、更なる一般公募によるアプリケーション開発を拡充するという、本事業の目的を具現化するものとして期待が大きかった。				
C：協働したことの効果 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 「ユニコムプラザさがみはら」との連携は、さがみはら「協同組合の人的ネットワークを生かした学生ボランティア等との協働の可能性であり、「行政」の視点と利用する「市民」の視点の双方の知見を活かした取組を推進した。				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがある目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 協働の基本原則の上で互いの役割分担を認識し、目的の達成に向けて協力して課題に対応し、主体となって事業を進めた。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 市では平成26年度からオープンデータを公開しているが、公開データの利活用が進んでいない(活用事例4件)。本事業は、市民ニーズに適合したデータの公開に伴い、市民による自発的かつ積極的なデータの利用が進み、データ利用が様々な地域課題の解決や利便性の向上等に寄与している状態を目指すものであり、市民サービスの充実につながる取組みである。	a	b	c	d
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 市民ニーズに適合したデータが公開され、データ公開の認知度が高まるためには、公開側である行政の視点だけではなく、利用者側である「市民」の視点も取り入れ、双方の知見を活かした「協働」した取組が必要である。	a	b	c	d
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 協働事業の実施にあたり、課題や事業の目的、内容、役割分担等について認識し、それぞれのメリットを共有しながら進めた。 ・団体：ノウハウの蓄積・ビジネス機会の創出 ・行政：住民満足度の向上・シビックプライドの醸成 ・市民(結果的に)：利便性の向上・地域課題の解決	a	b	c	d

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、コミュニケーションツールとしてWeb会議を利用することにより、課題を共有し、解決策を講じてきた。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>「ユニコムプラザさがみはら」から取組を評価いただき、学生ボランティア等の参画について協力の意向をいただいた。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>「ユニコムプラザさがみはら」との連携を模索できた。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症関連対策に集中するため、本事業は7月以降中断することとなった。次年度は年度当初から、アプリコンテスト開催のために本年度行った準備活動を無駄にせず、情報共有を密に事業に取組んでいきたい。また、アフターコロナ、Withコロナの観点を取り入れた、オリジナリティのある地域課題の解決や市民の利便性向上等に寄与するサービスの充実を志向したい。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	令和元年度採択	令和元年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がり活性化事業					
団体の名称	藤野電力					
事業担当課	危機管理課 緑区役所地域振興課 藤野まちづくりセンター 政策課					
事業の概要	電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発するため、イベントへの出展や、関心のある団体に対して出前ワークショップを実施します。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>1.防災に対して関心の薄い若年層や、低学年の児童のいる親子世代が参加してみたいと感じるような、「遊びながら、ゲーム感覚で」防災に関する知識を学ぶことができる場を提供し、多くの市民の防災意識を向上させる。</p> <p>2.電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発を行うことで、人の繋がりを活性化させながら、多くの方が災害時に対応できるノウハウを身につけるようにする。</p> <p>3.ミニ太陽光発電システム等を活用し、持続可能な循環型社会の形成に向けた意識啓発を図る。</p>					
令和3年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何ですか。</p> <p>イベントへの出展と、それに伴う啓発事業。また、イベント時に興味を持ってくれた団体などに対しての出前ワークショップの提供。</p> <p>動画や、SNSなどを活用した形での情報発信による防災啓蒙。</p>					
令和3年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>上半期については、緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共施設の使用が制限されたことや多くの市内イベントが中止となる等、昨年度同様、イベント出展への難しさがあった。拠点でのワークショップと映像コンテンツの企画、制作準備等を実施した。後半に向けては感染症対策に留意し、活動を広げていきたい。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>打ち合わせを進めてきた緑区地域、中央区などでのワークショップなどから実施していく。また、ヒアリングの中で小学校高学年等対象とする、防災サバイバルキャンプ等についてのニーズが高いのではというご意見もあった。半日イベントより子供が楽しんで参加できるのではという声がある。11月や、3月頃。また、来年度に向けての実証も検討したい。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(30) %程度</p> <p>成果をはかる指標(ワークショップ等の参加者の防災意識の向上人数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>○ワークショップを開催した際に、参加者に「防災意識が向上した・向上してない」などの項目で、アンケート等により防災意識が向上したかを図る。</p>					
事業予算額	3,366 千円					
うち市負担金額	2,570 千円 (市負担割合 76 %)					

令和4年度の事業継続を

希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	3,885 千円	(当初提案時の金額 :	3,980 千円)
令和4年度市負担金希望額	2,693 千円	(当初提案時の金額 :	2,786 千円)

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がり活性化事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 当該事業については、イベント出展やワークショップ開催など、人と会うことを前提にしており、新型コロナウイルス感染症対策のため、計画通りに進めることは出来ていない。				
B：事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 当該事業については、イベント出展やワークショップ開催が主となっており、新型コロナウイルス感染症の状況が変わらないため、当初予定の事業内容が計画の変更を余儀なくされており、経費については準備段階の執行しかできてない。				
C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>イベント出展やワークショップ開催を主体とした事業のため、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、事業について判断が難しい。ただ、台風等による風水害の被害は今年も小規模に発生してきており、自助、共助、公助の認知も含めて、含めても協働の必要性は強く感じている。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	事業内容としては、防災の啓蒙において、非常に効果が高いと考えてる。台風による風水害でも想定外のことが多く、自助、共助のための認知や地域の人のつながりはとても重要である。				
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	藤野電力単体では、防災の啓蒙は難しい点も多く、市との協働事業として実施させていただくことで、より広めることもできるため、効果的な事業であると考えている。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	コロナ防止対策で実施ができてない部分の効果的な変化をふくめ、改めて打ち合わせを行なっていく必要があると考えている。				

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>特になし。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>プロタイプ型のワークショップでは、これなら防災時や通常時も使いやすいというコメントをいただく。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>現時点で事業がほとんど実施できていないため、特になし。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>今年度前半は、大型イベントの中止もあり、なかなか予定通りの実施が難しい状況でしたが、後半は小規模なイベントやオンラインでの情報配信なども含めて、違う施策をご相談しながら進めていけたらと思っています。</p>
その他	<p>特になし。</p>

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	令和元年度採択	令和元年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がりの活性化事業					
団体の名称	藤野電力					
事業担当課	危機管理課 緑区役所地域振興課 藤野まちづくりセンター 政策課					
事業の概要	電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発するため、イベントへの出展や、関心のある団体に対して出前ワークショップを実施します。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>1.防災に対して関心の薄い若年層や、低学年の児童のいる親子世代が参加してみたいと感じるような、「遊びながら、ゲーム感覚で」防災に関する知識を学ぶことができる場を提供し、多くの市民の防災意識を向上させる。</p> <p>2.電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発を行うことで、人の繋がりを活性化させながら、多くの方が災害時に対応できるノウハウを身につけるようにする。</p> <p>3.ミニ太陽光発電システム等を活用し、持続可能な循環型社会の形成に向けた意識啓発を図る。</p>					
令和3年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何ですか。</p> <p>イベントへの出展と、それに伴う啓発事業。また、イベント時に興味を持ってくれた団体などに対しての出前ワークショップの提供。</p> <p>動画や、SNSなどを活用した形での情報発信による防災啓蒙。</p>					
令和3年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>上半期は、緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市内イベントが中止となったため、拠点でのワークショップと映像コンテンツの企画、制作準備等を実施した。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>感染症対策を十分に行った上で、当初予定していた緑区地域、中央区地域を中心としたワークショップ等を実施する予定である。また、防災サバイバルキャンプ等、小学生を対象とした半日がかりのイベントについて、実現が可能であるか、来年度に向けての実証も検討していきたい。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(30) %程度</p> <p>成果をはかる指標 ()</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>○ワークショップを開催した際に、参加者に「防災意識が向上した・向上してない」などの項目で、アンケート等により防災意識が向上したかを図る。</p>					
事業予算額	3,366 千円					
うち市負担金額	2,570 千円 (市負担割合 76 %)					

令和4年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和4年度事業予算額	3,885 千円	(当初提案時の金額 :	3,980 千円)
令和4年度市負担金希望額	2,693 千円	(当初提案時の金額 :	2,786 千円)

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がり活性化事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 当該事業については、イベント出展やワークショップ開催など、新型コロナウイルス感染症の状況に大きく影響を受ける事項が多いため、計画どおりに進めることは出来ていない。				
B：事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 当該事業については、イベント出展やワークショップ開催など、新型コロナウイルス感染症の状況に大きく影響を受ける事項が多いため、経費については当初の予定どおり執行できていないものがある。				
C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		は い			い え
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがある目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>予定どおり進めることが難しかったが、風水害の被害は今年も小規模に発生しており、防災に対する啓発活動を行う本事業の必要性は感じている。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		は い			い え
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a	b	c	d
	事業内容としては、防災の啓蒙において、非常に効果が高いと考えてる。				
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a	b	c	d
	市単独での防災啓発では難しい層(関心の薄い若年層や低学年の児童がいる親子世代)に対して訴求ができる、効果的な事業と考えている。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a	b	c	d
	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、必要に応じて役割分担の見直しを行っていく。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>特になし。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>ワークショップで、防災時や通常時も使いやすいという意見があったと伺っている。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>特になし。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>事業の内容から、新型コロナウイルス感染症の影響がどうしても大きいため、前年度に引き続き、事業の実施には大変苦慮されたものと承知している。下半期から次年度についても、相談しながら工夫して実施していきたいと考えている。</p>
その他	<p>特になし。</p>

相模原市市民協働推進審議会 協働事業提案制度審査作業部会委員名簿

番号	分野	職氏名
審 議 会 委 員		
1	学識経験者	東海大学 健康学部 教授 妻鹿 ふみ子
2	地域福祉	相模原市社会福祉協議会 理事 石川 壽々子
3	生涯学習	相模原市公民館連絡協議会 副会長 大久保 宗俊
ア ド バ イ ザ ー		
4	経営・財務会計	中小企業診断士(伊豫田中小企業診断士事務所 伊豫田 竜二)
5	団体運営・事業化支援	金融機関 (西武信用金庫橋本支店 支店長 本間 英和)